

◎静岡県納税貯蓄組合連合会長賞



中川根中学校3年

澤口一輝さん

町民にやさしい町づくり

夏

休みに入り、家族で焼津に住む伯母の家に遊びに行った時のことです。伯母が母に、「子どもが小さいとき風邪をひいたり、怪我をしたり、病院通いばかりだよ。」と昔の話をしていました。すると母が、「でも、医療費がかからないから助かるよね。うちのころでは、今年から高校生まで無料になったからとってもうれしいよ。」と言っていました。その時ぼくは「医療費が無料ってどういうことだろう。確かに、ぼくが病院にかかった時、いつも『お会計はありません。』と言われるけど、病院はどこからお金をもらっているのだろう。」と思い、調べてみることにしました。

ぼく

の住んでいる川根本町では「こども医療費助成事業」という制度により、赤ちゃんが産まれた時から十八歳になるまで、入院や通院の医療費が自己負担金なしで、すべて町で負担してくれていること

がわかりました。そして、その町のお金は、県から支援してもらっている分が約五百万円で、全体の四分の一に当たり、残りの四分の三は、町民が納めている税金で賄われていることを知りました。

税金

というのと、ぼくたち学生に関係するものとして、教科書や学校の整備、スクールバスの運行などが考えられますが、医療費にも使われていることを知り、とても驚きました。

調

べていく中で、近隣の市の状況を見てみると、どの市でも対象は中学三年生までで、中には通院の場合一回五百円、月四回まで自己負担ありという市もありました。ぼくは最初、この制度はこの市町でも同じように決められているものだと思っていましたが、このように各市町によって異なることを知り、驚きと、川根本町では他の市よりも長く、そして



作品をすすめる

澤口一輝さんが  
「静岡県納税貯蓄組合連合会長賞」に  
輝く！

今年で49回目を迎えた「税に関する作品」募集(島田税務署管内納税貯蓄組合連合会主催)の入賞者表彰式が、島田市の夢づくり会館で挙行政されました。

中川根中学校3年・澤口一輝さんの作文が見事、名古屋国税局長賞に次ぐ「静岡県納税貯蓄組合連合会長賞」に輝きました。

島田税務署管内(島田市・牧之原市・吉田町・川根本町)の小中学校から習字993点、作文535点などの応募がありました。

澤口さん以外の本町受賞者は次のとおりです。

■作文の部

- ▶島田税務署長賞  
中川根中学校2年 渥美 李咲さん
- ▶川根本町長賞  
中川根中学校2年 岡本 絢菜さん
- ▶島田榛原地区税務推進協議会長賞  
中川根中学校2年 小田切七海さん

■習字の部

- ▶島田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞  
本川根小学校6年 向島 央さん
- ▶川根本町長賞  
中央小学校6年 川村 滯さん

全額負担していただけること、それには町民の皆さんの税金が使われているということに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

**税金**についていろいろ調べていくと、町民のために使われている事業が他にもたくさんあります。中でも一番目に止まったのは、利用者の要求に対応して走る形態のデマンド型タクシー「おでかけ号」の運行でした。決められた時間に決められたルートを走る「町営バス」とは違い、時間や乗車場所、目的地を利用者が指定し、それに応じて運行する便利なタクシーで、町民誰もが利用できるのです。しかも、利用

者は二百円から五百円という低料金で乗車でき、町内の公共施設への移動や通院手段として、車の運転ができない高齢者の方にとっても役立っています。

**今回**、税金について勉強してみても役立っています。充実した学校生活を送れるのも、皆さんが納めている税金のお陰だということを感じ、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思いました。そして、これからも子どもからお年寄りまですべての人にやさしい町づくりのために税金が使われることを願いました。

税に